

2021年1月～12月 タバコ問題重大ニュース

2022年1月 タバコ問題首都圏協議会

【社会編】

- 1月25日：イオンは国内グループ115社の全従業員約45万人を対象に、就業時間中の全面禁煙を3月までに始めると発表。(毎日・1/26夕)
- 2月10日：JTがスイスに本社機能 希望退職者1000人規模。日本たばこ産業(株)は9日、国内たばこ事業で大幅なリストラと組織再編を実施すると発表。福岡2工場閉鎖。(読売他・2/10)
- 2月19日：「永田町 煙ったままの喫煙対策」「国会は議決機関」喫煙専用室79か所。改正健康増進法が今年度から全面施行された。中央諸官庁が屋内全面完全禁煙となる一方、国会内にはあちこちに喫煙専用室があり、議員らが紫煙をくゆらせている。たばこを吸う議員が減ったとはいえ、永田町の対策は煙ったままだ。(読売・2/19)
- 2月20日：国立がん研究センター、国立循環器病研究センターなど六つの施設が19日「たばこは吸わない」「節酒する」などの、健康寿命を延ばす科学的根拠が十分と判断した10項目を厳選して示した。(朝日2/20夕)
- 30日：ベランダで一服 隣人トラブルに コロナ禍で在宅増え(日経・3/30)
- 4月01日：大阪大学生と大阪国際がんセンターの共同研究で、加熱式たばこ受動喫煙が呼吸器、循環器に悪影響が。(東京・4/1夕)
- 4月10日：仙台市の勾当台公園に予定されていた「分煙社会実験」が中止となった。市民団体の申し入れや日本禁煙学会が中止を求めていた。(しんぶん赤旗・4/10)
- 4月13日：「都庁の足元、昼の新宿中央公園 喫煙所閉鎖」喫煙者殺到で。(都政新報・4/13)
- 5月27日：「喫煙で年769万人死亡」日本は20万人で6位 英医学誌『ランセット』に掲載(しんぶん赤旗・5/29)
- 5月31日：「受動喫煙増えた 3割増」国立がん研究センターが調査報告(6/1各紙)
- 6月16日：2020年度の国内紙巻きたばこ販売本数が1千億本を下回ったことが、日本たばこ協会の集計で判明。1990年度以降、1千億本割れは初めて。986億本に。最も多かった1996年の3483億本と比べると7割超の減。(読売6/17ほか)
- 6月18日 ファイザー社禁煙補助薬チャンピックスから発がん性物質ニトロソアミンが検出されたため出荷保留。(ファイザー社HP 6/18)
- 7月01日：岩手県平泉町とフィリップモリス社が喫煙所設置で包括協定を締結。中尊寺と毛越寺の駐車場に加熱式たばこ専用エリアが。(日刊ゲンダイ7/8)
- 9月12日：「喫煙の制限 違憲と提訴」八王子市の国本康浩氏が東京地裁に。(毎日9/12)
- 12月01日：東京都がまとめた健康に関する世論調査で、過去1年間に受動喫煙を経験したかどうか尋ねたところ、55.4%が経験したと答えた。路上が最も多かった。(日本経済12/2都内版)
- 12月09日：ニュージーランド政府が14歳以下の少年少女が生涯にわたって紙巻きたばこを購入することを禁止する法案を提出することを明らかに。(日本経済12/10夕)

【活動編】

- 5月22日：「第30回禁煙推進医師歯科医師連盟学術総会開催」（於：福島県立医科大学キャンパス）
大会長は風間咲美県立医科大学准教授。
- 5月29日：「World No Tobacco Day 記念イベント2021」・タバコ問題首都圏協議会主催
「国会・地方議会における喫煙問題」をテーマにオンライン講演会を開催。
- 5月31日：福島いわき市の齊藤医師が呼びかけて「禁煙週間」にあわせ、受動喫煙防止を呼び掛ける
「イエローグリーンキャンペーン」を実施。
- 7月13日：『禁煙白書』2021年版刊行。禁煙推進企業コンソーシアムでは、企業の禁煙推進ために
日本で初めての「白書」を刊行した。（Yahoo ニュース 7/13）
- 7月14日：日本禁煙学会が平泉町と、中尊寺と毛越寺に抗議書 SDG sに違反のPM社加熱式喫煙所設置
に（仏教タイムス・7/15）
- 10月16日：「第15回 日本禁煙学会学術総会」J:COM ホルトホール大分で開催。オンデマンド配信で。
大会長は北野正剛大分大学学長。全国の参加者は1800名だった。（17日まで）
- 11月19日：山形大学の「SDG s」活動にJT山形支店が助成金交付。同大学生に山形支店長が講義も。山
形喫煙問題研究会（大竹修一会長）が玉手英利学長に申し入れ。大分から北野正剛大分大学
長もこの要請行動に同席。
- 12月01日：『禁煙ジャーナル』、高信太郎氏の連載コラム「漫筆」が、15年3か月の長期連載終わる。
- 12月15日：タバコ問題首都圏協議会オンライン望年会。伊佐山芳郎弁護士の『人生、挑戦』を
メインテーマに、渡辺文学と対談。

【論説編】

- 2月19日：「文学さんが提案する」（タバコポイ捨て問題の解決をめざして）（西日本新聞「風向計」・久
保田正廣論説副委員長）
- 3月21日：「喫煙でコロナリスク増」大阪国際がんセンター田淵貴大氏（しんぶん赤旗・「健康らいふ」）
24日：「日本たばこ（JT）」の戦略を米国タバコ企業の内部文書をもとに解明。総合研究大学院大学准
教授飯田香穂里氏インタビュー。（しんぶん赤旗：2/24）
- 3月29日：今も活動を続ける喫煙科学研究財団とは JTのタバコ戦略（しんぶん赤旗）
30日：JT 有害知りつつ規制妨害 海外企業（PM社）と協力して。（しんぶん赤旗）
- 4月01日：「健康への意識高めよう」受動喫煙防止条例（福島民報・「社説」）
- 4月04日：「受動喫煙防止 社会全体で前進させる時だ」（河北新報・「社説」）
- 4月15日：「加熱式たばこ 私には苦痛」（西日本新聞・「特命取材版」）
- 4月18日：「今こそ禁煙が重要な理由」・新型コロナ緊急事態（毎日：「くらしナビ」）
- 4月23日：健康増進法「改正法施行から1年 路上喫煙など課題」（産経：「知っ得 News」）
- 5月2・9日：「喫煙する高齢者 半数が呼吸に支障「COPD」 郷間巖氏（しんぶん赤旗「健康らいふ」）
- 6月07日：「見上げてごらん」「コロナは人ごと？」WHO 提唱タバコをやめるべき100以上の理由 永山悦
子氏（毎日・くらし医療部記者）
- 6月22日：世界禁煙デー コロナとタバコで報告「喫煙は重症化リスク」松崎道幸氏（しんぶん赤旗）
- 9月14日：「香山リカの ココロの万華鏡」／「たばこ」って何だろう（毎日）
- 10月01日：「たばこ また増税アリ？」—選挙の争点になったこともないが……。 （東京・こちら特報部）
- 10月18日：『人生、挑戦』嫌煙権弁護士伊佐山芳郎氏インタビュー（しんぶん赤旗）
- 10月26日：「加熱式タバコの広告！には驚いた」中久木一乗氏（日本歯科新聞）
- 11月08日：「法医学と喫煙」（上）「解剖遺体 高い喫煙率」西形里絵氏（福島民友）
- 11月26日：「たばこ税で屋外喫煙所整備を」（産経・「知っ得 News」）
- 11月29日：「法医学と喫煙」（下）「たばこは暴力 違法化を」西形里絵氏（福島民友）
- 12月11日：「拾ったポイ捨て5万本超える」約3年間で（しんぶん赤旗コラム「箸やすめ」）